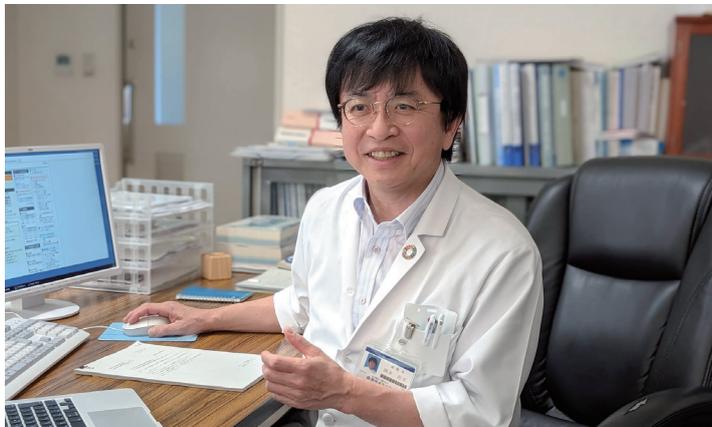


静岡県で活躍する医師



静岡済生会総合病院

病院長

岡本 好史 医師

—— 医師をこころざしたきっかけを教えてください。

岡本 医師 子供の頃、私がなりたかった職業は料理人や建築家でした。何か「ものを創る人」になりたかったのだと思います。家庭環境も影響して私は医師を目指すようになりましたが、現役での医学部進学はかないませんでした。浪人時代に自分を見つめ直す中で、人間のことをもっと知りたいと考えるようになり、心から医師になりたいと思うようになりました。

医師になってみると、人が生まれてから死ぬまでのすべての過程で、身体や心を診るだけでなく、生活とも密接に関わる仕事であることを実感しました。

—— 外科を専攻したきっかけと魅力を教えてください。

岡本 医師 専攻する診療科を決めるときに、まず手術ができる外科系の診療科を考えました。産婦人科や整形外科なども候補でしたが、守備範囲が広く対象疾患が多いこと、全身管理が出来ることを考えて外科医になることを決めました。外科の魅力は何といっても、手術という数時間の治療で命に関わるような病気でさえも治してしまえるところです。私は外科の中でも消化器外科や乳腺外科に携わってきました。これらの領域はどの診療科よりも多くの癌を診る機会があり、診断から術式の選択、薬物療法や放射線治療を含めた集学的治療、そして緩和ケアまで、多岐にわたって学ぶことも多く、いつまでも学び尽くすことなく楽しむことができます。

さらには、開腹手術から腹腔鏡手術、そしてロボット手術へと術式の進歩もめざましく、若い先生たちにとっては本当に魅力的な将来が待っています。



院長に就任してからの現況を教えてください。

岡本 医師 私は院長に就任したときに、どんな病院でありたいかを考えて「患者さんにやさしく、患者さんが安心できる病院」そして「職員が楽しく働ける病院」という2つの病院像を掲げ、今それを提唱しています。そのためには医療の質を高めることももちろんですが、コミュニケーションがとても大切です。患者さんやご家族とのコミュニケーションは、患者さんの安心につながります。職員同士のコミュニケーションは患者さんの安全・安心のためにも、また働きやすい職場をつくる上でも不可欠なものです。当院の職員には、良好なコミュニケーションのためには「あいさつ、声かけ、笑顔、そして共感」を心がけてもらうよう常に話しています。

また済生会は全国40都道府県に展開する日本最大の社会福祉法人で、病院の他にも多くの福祉施設を持っています。全国の済生会で医療と福祉を通じた街づくりにも力を入れているため、当院でも地域とのつながりをとても大切にしています。地域の医療機関や福祉施設との連携はもちろんのこと、地域住民の方たちにも病院のことや済生会という組織のことを知っていただくために様々な活動を行っています。



若手医師との関わりや指導について教えてください。

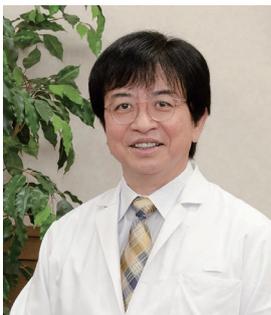
岡本 医師 若手とは限りませんが当院の医師には、患者さんやご家族への丁寧な説明、紹介元の診療所やかかりつけ医への情報提供をしっかりとってもらうようお願いしています。また診療科や職種、部署の間の垣根をなくし、風通しの良い職場を作っていくためにコミュニケーションが大切であることを様々な機会に伝えています。

医師を目指す方や若手医師にメッセージをお願いします。

岡本 医師 医師として自分の能力を高めることや患者さんと良好なコミュニケーションをとることが、患者さんの満足につながり、自分自身のモチベーションも上がります。そして、学ぼうと思えばいくらでも新しいことを学ぶことができます。しかも目覚ましい医学の進歩は、少し前には不可能であったことを可能にし、私たちは新しい知識や技術を患者さんに届けることができます。

人との関わりにしても新たな知見にしても、日々同じことの繰り返しではなく、常に新しい刺激に満ちた人生を送ることができ、その上人に喜んでもらえるのも医師という職業の魅力のひとつだと思います。

私がか子供の頃、ものを創って人を喜ばせたいと思っていたことと、患者さんに喜んでほしいという現在の臨床医としての気持ちに共通点を感じています。



プロフィール

岡本 好史 医師

趣味

- ・音楽鑑賞(ロックミュージック)
- ・バンド活動
- ・ロックバー巡り

- 1988年3月 名古屋大学医学部卒業
- 1988年6月 静岡済生会総合病院 研修医
- 1989年5月 静岡済生会総合病院 外科
- 1991年1月 豊橋市民病院 外科
- 1995年4月 名古屋大学 第1外科
- 1998年4月 知多市民病院 外科
- 1998年10月 オハイオ州立大学バイオテクノロジーセンター
- 2000年10月 山下病院 消化器外科
- 2003年11月 中部労災病院 外科
- 2008年1月 静岡済生会総合病院 外科
- 2014年4月 静岡済生会総合病院 副院長
- 2021年4月 静岡済生会総合病院 病院長